

はじめまして、  
管理人のワルサーP38と申します。

零細企業に勤めるサラリーマンで、理想の男はルパン三世です。

仕事は大変ですが、ロリ顔でウエストのくびれた妻と  
子どもたちに囲まれて幸せな毎日を送ってます。

「行ってきます！」

のキスを妻とする前に、玄関で『今日のパンティ』を  
確認するのが楽しみなプチ変態です

可愛くて色気があって、そして心から好きな女と一緒にいれるって  
本当に幸せです！

今でこそ、そんな幸せな毎日を送れる男ですが昔は悲惨でした・・・

恥ずかしくて言うのがイヤなんですが  
女の子と会話すらできない男でした。

中学の3年間で女子とただの一度も会話できなかったくらいです。

会話はできませんでしたが  
中学といえば思春期まっただ中です！

やっぱり好きな女の子ができるんですね。

でも、会話はできなかったのが当然ですが私の片想いです。

文化祭、体育祭、修学旅行・・・

イベントのときにはずっと彼女の姿を目で追うことしかできませんでした。

それでも妄想の中では、ラブラブなカップルで  
幸せな青春時代を過ごしていたんです。

今、冷静にふりかえると私って  
「ただのヤベェ奴」ですよ（汗）

でも、そのくらい好きだったってことです。

**「もう彼女以外に好きになれる女は人生に二度と現れない」**

とマジで信じていたイタイ男でした（苦笑）

そして中学3年・・・

彼女は女子高に、私は共学の高校に進学することになりました。

ただの一度も会話することもないまま  
卒業をむかえてしまいます。

「第二ボタンほしいと言ってくれないかな」

会話したこともないのに、そんな現実はあるはずがありません！

妄想とリアルのギャップに打ち砕かれ  
淡い失恋感を抱いたまま高校生活が始まりました。

しかし、そこで**奇跡が起きます！**

一度だけ彼女と二人きりで会える時間を作ることができたんです！

私は本当に幸せでした。

中学3年間分の思いをぶつけて話しておきました！

彼女の笑顔を目に焼き付けよう！

彼女の声を脳裏に焼き付けよう！

本当に楽しくて幸せな時間でした。

しかし、このときの出来事がきっかけで  
その後、私は辛い思いをすることになります。

詳しい話はまたいずれ話しますね、泣いてしまいそうなので・・・（苦笑）

結局、私は彼女を忘れられなくなってしまいました。

6年間も片想いし続けることになってしまったんです。

高校では今までの時間を取り戻そうと  
頑張ってクラスの女子と会話をしました。

会話できないと**永遠に好きな女の子と両思いになれない**と思ったからです！

恐ろしいくらいの危機感がありました。

会話はできるようになりましたが、  
それでも女性と縁の無い生活には変わりはありません。

会話ができたくらいで、彼女ができるわけではありません。

高校に入ってモテたくて始めたバンドですが  
彼女ができるどころかモテる気配すらありません。

そりゃそうですよね。

私はモテたくてバンドを始めたんです。

別に「音楽で飯を食ってくぜ！」なんて  
気持ちがあるわけじゃないので練習なんて全然してません。

親が買ってくれた布袋寅泰モデルの  
ギターなんて文化祭直前までホコリをかぶったまんまです。

高校生でモテる男は文化祭で  
カッコよく演奏するからモテるんです。

私はヘタすぎでメンバーにも迷惑をかけてしまいました。

本当はカッコいいはずのBO WYは私が演奏すると笑われる始末・・・  
(氷室さん、布袋さんゴメンナサイ)

そりゃモテるほうが無理ってもんです。

こうして書いてて改めて思いますが、今の妻子と囲まれた生活をみると

「俺ってめげずに頑張ったよな～。

俺って勇気あるな～。」

と本気で思います（笑）

バンドしてても下手くそなのでモテるの演奏の上手い男だけ。

確かに彼は中学の時からバンドをやっているというだけあって  
ギターもドラムも抜群に上手かったです。

そして当然モテました。

私がモテない分を余計にモテていたのかもしれませんが。  
彼には茶髪で制服のスカートがミニの可愛い彼女がいました。

そして私はというと・・・

『ギターも上手くなって  
学校中の女子にモテモテになって  
それが噂で女子高にまで広まって  
片想いの彼女から告白される』

という妄想ばかりしていた本当のモテない君でした。

私って・・・本当にヤベェ奴ですね（苦笑）

そんな私に転機が訪れたのは大学のときでした。

バイト先で鬼のようにモテる奴と出会ったのです。  
名前をシンといいました。

シンは今でも親友ですが、

- ・男にも女にも誰にでも優しくて
- ・当時大人気だったDAPUNPのユキナリ似で
- ・服装も細身のキレイ系を着こなして
- ・笑いのセンスもトークも素晴らしく
- ・付き合った女の数は覚えていなくて
- ・普通に野外でホニャララしたことあったり

とにかく当時、全くモテなかった私からすれば嫌味な奴でした。

さらに

「俺なんか全然たいしたことねーよ。  
俺よりもっとモテる奴なんて周りに  
ゴロゴロいるよ。」

というセリフに余計ムカついたことを今でもよ〜く覚えています。

ただ、シンは本当にいい奴だったので  
私もそんな彼と自然と一緒にいることが多くなりました。

シンはとにかく私を褒めてくれました。

まるで私の良いところだけを探してくれていたみたいに。

シンのトークは相手を気持ちよくさせてくれるので  
私は本当に一緒に過ごす時間が楽しかったです。

長時間の深夜バイトだったのもあって

「お前ら、できてんの？」っていうくらい  
本当に一緒にいました。

バイト終わった朝の5時頃に吉野家に行って

「牛鮭定食」食べてたのが懐かしいです。

その後、シンの家について濃い目のホットコーヒー飲みながら

色んな話をするのがいつものコースでした。

今だから分かるんですが、これが本当に良かった！

『モテる一番の近道は、今実際に  
モテているヤツの真似をすることだ』

と今の私なら確信して言えます。

シンと一緒にいるようになってから、不思議と私もモテ始めました。

ワルサ：シンはどこで服買ってんの

なんかカッコイイよな～

シン：じゃあ今度一緒に買い物行こ～ぜ。

俺が選んでやるよ！

まず服装と髪型が変わりました。

すると大学の女の子から

「最近お洒落になったよね～！

結構みんな言ってるよお（ ）」

と言われたりしました。

「マジっで!？」

マジでマジでマジで×100回

もう一回言って!もっと褒めて!

俺って褒められて伸びるタイプなの!」

と心の中で叫んでました。

これはマジで嬉しかった!

本当に嬉しかったです。

まさか自分の人生に・・・

こんな嬉しい言葉をかけられる瞬間がくるなんて

思いもしなかったからです。

女の子に「オシャレだ」なんて言ってもらう時が来るなんて!

あのヤベェ奴だった男が!

服装や髪型、女に対するマインドっていうんですか

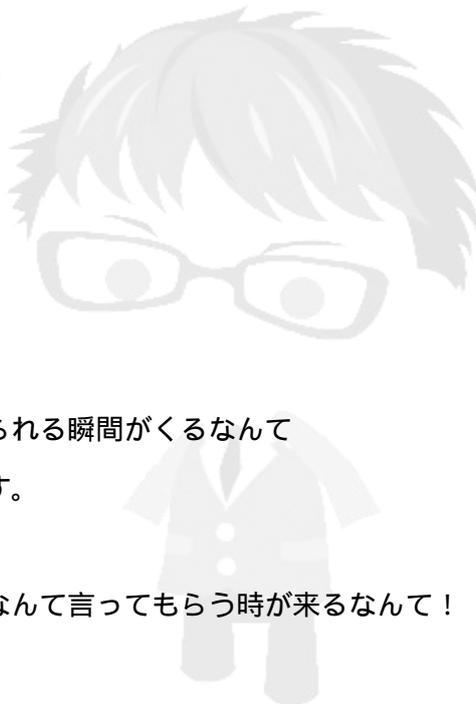
考え方や心構えは今でもシンの影響が大きいです。

そうして徐々にモテるようになってきた私ですが、

「もっともっとイイ女を抱きたい」

「女をもっと効率よく落としたい」

という欲求が強かったので、さらに



恋愛マニュアルなどを読み実践してきました。

まるで思春期の欲望を取り戻すかのように・・・

おかげで今では

初めて行ったキャバクラの店内でボーイに隠れて何度もキャバ嬢とキスできるようになりました。

会社の後輩OLがキスや抱っこをおねだりしてくるようになりました。

元キャバ嬢と初めて会ったその2時間後には、その女の家へ行ってゲットできるようになりました。

自慢のように聞こえたら申し訳ないですが、そんなことはむしろオマケです。

少しだけ女性にモテるようになって心の底からよかったと思えたのは

**『本当に好きな人と付き合うことができたこと』**です。

今の妻です。

私と出会ったとき、妻には他に好きな男がいたんです。

しかも付き合う寸前でした。

他に好意を持っている男がいたにも関わらず  
私を選んでくれたんです。

まさに大逆転！

昔のヘタレな私だったら  
他に好きな男がいると分かった時点で  
カンペキに諦めていました。

「またフラれて傷つくのはイヤだから、  
その前に・・・」

ヘタレな私ならきっとそう思って、諦めていたでしょう。

でも！  
諦めなくて本当に良かった！

そう心から思います。

そして、後から分かったことですが  
実は相手の男も妻のことを好きだったんです。

そう、両想いだったんです。

しかし、すでに「私の彼女になった妻」に告白して  
フラれることになりました。

**なぜ、彼は有利な状況だったにもかかわらず私に負けたのか？**

**なぜ、出遅れていた私が彼女の気持ちを振り向かせたのか？**

今ならちゃんと理由が分かります。

あなたも間違っただアプローチをしていたら  
本当に好きな人を、後からきた誰かに横取りされてしまいますよ。

本当に好きな人を落としたいなら  
正しいアプローチをしていく必要があるんです。

少しは私という人間を分かってもらえたでしょうか？

「はい。

愛する奥さんがいるのに  
あなたはやはりヤベェ奴ですね。

軽蔑します」

と思われるなら、  
残念ですがそれは仕方のないことです。

今すぐこのサイトを閉じて、ここでサヨナラしましょう。

私が愛しているのは妻だけです。

妻にも私をずっと愛してほしいと心から願っています。

しかし、それを実現するためには  
自分自身が魅力的であり続けなければいけないと  
私は思ってます。

そのためには、時に違う女性を口説くこともあります。

いくらボディビルをしたところで  
短距離走が早くなるわけではありません！

短距離には短距離に適した  
練習と筋力トレーニングが必要なんです。

恋愛も同じです。

恋愛の魅力は男女関係でしか培えないと思ってます。  
それだけです。

今は分からないかもしれませんが  
あなたがこのマインドに共感できるようになったときには  
好きな女性と付き合えているでしょう。

大学までまったくモテなかった男・・・  
本当に自分でも可哀相になってくるほどヤベェ奴でした。

しかし、今では大好きな女性と  
ずっと一緒にいることができています。

こんな私にできたのです。

諦めなかったからです！  
あなたに出来ないはずがありません！

あなたも必ずできます。

自分を信じてください！

そして、大好きな女性と付き合っ、愛し合えるような男になってください！



## ワルサーP38

X JAPANとレースのパンティを愛する男